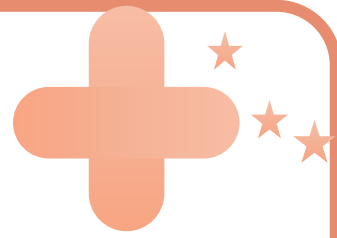




みみふく びらす



聴覚支援学校福島校 地域支援センター「みみらんど ぶくしま」

第1号 H30. 5. 30

「みみらんど ぶくしま」から、耳ときこえに関する情報をお届けします。第1号は「聴覚障がい児の困り感」についてです。

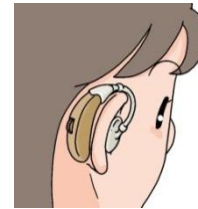
きこえにくい子どもたち

○聴覚障がい＝見えない障がい → 周りが気づきにくい → 配慮が届かない



※子音が聞こえにくい。音が歪む。

(例) kasa (かさ)	⇒「ああ」
oka-san (おかあさん)	⇒「おあーあん」
takesita-san (竹下さん)	⇒「あえいああん」
	↓
	「あれはいかん？」



補聴器



人工内耳

※ 聞こえる人と同じように、聞こえるわけではない。

こんなことに困っています



こんな配慮をお願いします

◎ 合図をして、聞く姿勢になってから話す。



◎ 口元をみせて表情豊かに話す。



◎ 誰が話すか知らせてから話す。



◎ 後ろから呼びかけるときは、肩をたいて知らせる。



◎少し大きめの声で、自然なリズムを保ち、丁寧に話してください。



「きこえにくい子のためのサポートブック」／福島県立聴覚支援学校福島校発行 より
次号は「聴覚障がい児のことば」についてお届けします。 9月頃発行予定です。

